

災害に備える

台風・豪雨 対策編



災害発生時は慌ててしまって何もできない! という方も。子どもが一緒ならなおさらです。「うちは大丈夫」と過信せず、日頃から備えておきましょう。

防災グッズを準備する時の注意点

● 親子にとって絶対に必要なものの5つをまずマーカーで色付け

役立つものは災害の種類や人によって違います。一般的な持ち物はチェックリストなどを参考に、自分に必要なものをチェック。

マーカーした
リストの品は
いつも持ち歩こう



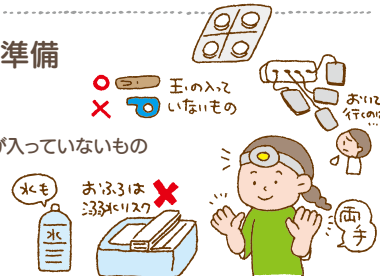
● 荷物を持たずにすむ方法を検討

荷物の準備より素早く避難した方がいい場合も。親戚宅など事前に避難用グッズを置いてもらう、遠方のホテル等一現地調達など事前に検討しましょう。



● 災害時に入手しにくいものを意識して最初に準備

- 特別な薬など 自分の子にとって特に必要になるもの
- モバイルバッテリー スマホを充電場所に置いたままにするのは心配
- ホイッスル 危険を知らせるため 濡れても使えるように球が入っていないもの
- ヘッドランプ 乳幼児連れは両手を空けて作業したいので
- 携帯トイレ トイレが汚れると衛生状態が保てないため
- 車の給油 いつも半分になったら入れておいて
- 保存袋・ラップ ● 水 ● 電気の備蓄 など



● 災害時に初めて使うものは乳児に注意が必要な場合も

できるだけ使い慣れているもので準備

- **アルミブランケット含むブランケット・柔らかい布** 窒息のリスクがあります。
- **電池類** 交換や使用時、誤飲のリスクがあります。特に注意しましょう。

窒息 誤飲



- ハザードマップの入手・DL
- 母子手帳のコピーまたは写真を撮る
- 地域の避難所/避難場所等の情報を確認
- 安否確認の方法を確認
- アプリのダウンロード・事前登録
- マイタイムラインを作っておく



ハザードマップ
ポータルサイト



Yahoo! 防災速報
(アプリ)



教えて!ドクター
(アプリ)



Yahoo! 天気
(アプリ)

母子手帳のコピー・写真を撮っておく

このページをコピーまたは写真に撮っておこう!

● 出産の状態 ● 乳児身体発育曲線 ● 予防接種の記録

母子手帳は避難時に持ち出せればベストですが緊急時にはできない場合も多くあります。上の3項目を **コピーまたは写真に撮っておく** といざという時便利です。てんかんなどの**慢性疾患がある場合はお薬手帳も**コピーか写真を。



避難とは「難」を「避」けること (土砂災害・浸水害の場合)

避難所以外にも避難先の選択肢があります。

1 安全な場所 すでにここにいたら避難は不要

- 自宅
 - 親戚宅 知人宅
 - ホテル・旅館
- ・ハザードマップで、避難が必要か確認
 - ・親戚宅など事前に約束しているとスムーズ
 - ・宿泊費用について補助がある自治体もあります



2 行政が指定した避難場所・避難所・母子避難所

自治体によっては学校だけではなく、子育て支援施設や保育系の大学などの母子避難所にすぐ行ける場合があります。**避難場所**… 災害の危険からまずは逃げる場所 **避難所**… 避難生活を送る場所 このふたつは**場所が違う**場合があります。
Yahoo! 防災速報アプリ→防災手帳→避難場所リスト→避難場所を探す でも探せます

3 屋内安全確保 浸水害で以下の条件がそろえば浸水する場所でも可能

- 1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
- 2 浸水深より居室は高い
- 3 水が引くまで我慢でき、備えが十分

- ! 豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。
出典 内閣府防災情報 「避難行動判定フロー」を確認しよう!
- ! 膝下の水位でも、流れが速ければ大人でも流されます。
出典 国土交通省 水害に関するウェブサイト



災害に備える

台風・豪雨 対策編



安否確認の方法を決めておく

安否確認の方法を複数 作っておきましょう。

災害時にはスマホや携帯が使えなくなる可能性があるため、**災害別の待ち合わせ場所と待ち合わせ時間も決めておく** といいでしょ。

また、施設の方が安全な場所であれば、その場にとどまる方が安全な場合もありますので、有事の際の送迎については事前に園や学校と話し合っておくことも大切です。



家族との連絡手段

- 使い慣れた SNS
- Google パーソンファインダー 災害時に名前で安否確認ができます
- 災害伝言板 (web171) 伝言の登録や確認ができます
- 位置共有アプリの利用 など



預け先に子どもがいる場合

- 学校との連絡 個別に連絡を取ると先生たちが連絡に追われ逆に子どもが危険になることも事前に災害時の連絡方法の確認を
- 通学・通園の道 危険になる場合、保護者の判断で休みにしても、休み扱いにしない地域もあります。豪雨災害では無理をしないことも大切。
- お迎え 連絡がないと迎えに行きたくなりますが、豪雨時の移動が危険な場合もあります。園が安全な場所にあれば、任せて待てるよう事前に防災体制の確認を。



スマホが使えない場合

スマホが使えなくなる場合もあるので、事前に災害別の待ち合わせ場所・時間を決めておくと。

ハザードマップ 国や自治体の最新のものをDL・印刷しておく

●ハザードマップは紙または災害前にダウンロード

住んでいる地域のハザードマップは、紙または自治体 HP から入手できます。災害時、自治体のホームページは **アクセスが集中して繋がらない場合** があります。

災害前にダウンロード、または印刷 をしておきましょう。

ただし、ハザードマップに色がついていなくても安全を意味しません。(最新情報になっていない、用水路のリスクが入っていないなどのため)



災害時の情報収集 有用な情報源をチェック

災害前の情報源

- 気象庁 [キキクル] Yahoo防災速報アプリでも反映
- 国土交通省 [川の防災情報] Yahoo天気アプリでも反映
- Yahoo!天気アプリ [河川水位情報] メニュー→河川水位

津波・高潮・浸水・土砂災害リスクを一度でチェック可能

局地的な情報

- SNS 自治体が発信している場合は事前に登録
- コミュニティFM 開いているコンビニなど地域情報に強い
- 防災無線 各家庭に機械がある場合は電池をチェック
- Yahoo!防災速報 (アプリ) マップ欄のコメントで地域情報がわかる



災害後の情報入手

- ラジオ・テレビの情報・新聞
- 自治体など公的HP 給水場所や入浴施設、充電場所、支援物資の配布などの情報、警察や男女共同参画局情報も防犯や子育て情報が得られる
- 子育て支援センター・医師会・助産師会・弁護士会のHPやSNS 子育てに必要な情報や、支援金の情報など

避難のタイミングを知る

出典：内閣府「防災情報のページ」

状況が急変することもあり警戒レベルは 1 から順番で発表されるとは限りません。自分の避難のタイミングを決めておきましょう。(マイタイムライン)

- 情報収集
- 避難袋確認
- ハザードマップ確認
- 充電確認

- レベル3になった時の行動を共有
- 避難経路・場所確認



子連れは3で避難

3から5になることも!

危険な場所から全員避難

危険な場所から避難に時間を要する人は避難 高齢者や子育て世帯

もし水害で逃げ遅れたら 無理に避難せず、できるかぎり高い場所に逃げる 外に出る方が危険なこともあります*

緊急安全確保 既に災害が発生・切迫 命の危険



※出典 国土交通省 水害に関するワンポイント